

きさわだより

令和2年
8月号



カラー版・
バックナンバー

公民館事業を再開します!

8月末まで中止としていた公民館事業の制限を解除しました。



安心・安全が第一となるため、例年通りの実施は難しいですが、感染対策の徹底も含め、運営委員会等で検討し徐々に再開していきます。

募集の際は公民館だより等で御案内いたしますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

新公民館の工事が着々と進んでいます

7月は建築工事エリアの仮設設備の設置を行い、既成杭の打設が全て完了しました。

外構工事は東側道路境界及び西側隣地境界にある擁壁の撤去が完了し、擁壁の新設準備を進めました。

今月も引き続き工事があり、公民館駐車場内でも工事車両の移動がありますので、通行の際はご注意ください。



既製コンクリート杭打設状況

8月の工事予定

- ◆ 上旬 → (建築)基礎部分の土掘削・搬出、(外構)敷地東面擁壁工事
- ◆ 中旬 → (建築)捨てコンクリートの打設、(外構)敷地南面西側擁壁の撤去(学校夏休み中)
- ◆ 下旬 → (建築)基礎工事準備、(外構)敷地南面・東面擁壁新設

※工事の進捗により内容は変更されることがあります。

市議会定例会を傍聴してみませんか

平塚市議会定例会では、市民の皆様の生活に密着した重要な課題が審議されます。市政を身近に知るため、平塚市議会定例会を傍聴してみませんか。

【開会時間】 10時

【場所】 市庁舎本館8階

【問合せ】 平塚市議会局 (☎21-8791)

【令和2年9月定例会日程】

8月28日(金)

本会議第1日(提案説明等)

9月8日(火)～9月11日(金)

本会議第2～5日(総括質問)

9月15日(火)

常任委員会(総務経済・都市建設)

9月16日(水)

常任委員会(教育民生・環境厚生)

9月24日(木)

本会議第6日(委員長報告、表決等)



※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、傍聴の方法については変更となる可能性があります。

☆10月分の公民館利用申込み受付☆

<地区内団体> 9月1日(火) 9:00~ <地区外団体> 9月15日(火) 9:00~

吉沢がわかる!

吉沢の深い話



まぼろしの八坂神社② 八坂神社の前身は牛頭（ごず）天王社

前回、八坂神社の祭りは盛大に行われていますがこの吉沢には八坂神社がない。明治新政府の政策によって生まれ明治の終り頃には消滅したと記しました。

八坂神社の前身は牛頭（ごず）天王社と言ってお寺の一部でした。吉沢には江戸時代までは延命寺や妙覚寺持ちの牛頭天王社が置かれていました。牛頭天王はお釈迦さまが住んでいた祇園精舎の守護神とされています。精舎はお寺のことで、平家物語の冒頭に出てくる「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」のお寺です。吉沢の八坂神社のお祭はお神輿が巡行する夏祭りで、昔から「お天王（てんのう）さん」と呼ばれてきましたが牛頭天王に由来しています。

祇園祭で有名な京都八坂神社は祇園社と呼ばれていました。創祀については一説によると新羅国（韓国）の牛頭山に座した須佐之男命を山城国（京都）愛宕郡八坂郷の地に奉斎したことに始まるという。明治元年この祇園社や牛頭天王社は八坂神社に改称されました。

江戸時代までは、「神仏集合」の思想がひろがっていて「神様と仏様は元をたどれば同じという考え方で「大日如来と天照大神は元をたどれば同じ」、「牛頭天王は八岐大蛇（やまたのおろち）退治で有名な須佐之男命（スサノウノミコト）と元は同じ」といわれましたがこの須佐之男命は八坂神社の祭神です。

ちなみに古事記、日本書紀では須佐之男命は天照大神の弟とされています。 （吉沢歴史クラブ記）

御礼 市民の花「なでしこ」の苗をご提供いただきました

今年も上吉沢の熊澤様から、なでしこの苗をご提供いただきました。公民館利用者の方に持って帰っていただき、ご自宅で育てていただいています。 ※現在配布は終了
ありがとうございました！



今年は公民館でも育てました(奥)
手前の鉢は熊澤様ご提供

第45回 ばらの丘文化祭 開催中止のお知らせ

9月21日(月)敬老の日開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、皆様の健康面、安全面を最優先に考慮し、開催を中止させていただくこととなりました。

ご予約いただいていた皆様、ご協力いただいている皆様には大変申し訳ございませんが、何卒ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

【問合せ】社会福祉法人 つちや社会福祉会 ☎58-6677



☆『湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会』からののお知らせはお休みです。

※公民館の各事業において、お申込み時にいただいた個人に関する情報は、関係事務及び連絡に使用します。
※当日撮影した写真は公民館だよりやホームページに掲載することがあります。
※事業当日は報道機関が取材に入ることがあります。